

# みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2001/01/31 Vol. 59 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

## 印西市議会/平成 12 年第 4 回定例会報告 (5)

いつもお世話になっております。今回も引き続き、印西市議会(12月定例会)の報告を行って参ります。

12/6(水曜日)に、代表質問に立ちました。以下、市当局の回答です。

### 1. 情報化施策の推進について

#### (2) 教育の情報化の現況について

(あ) 児童・生徒用のコンピュータ等の整備は予定通り進んでいるか。(パソコンの設置やインターネット接続、教育用ソフトウェアの整備は万全か。)

(い) 印西市内公立学校教員の現状は。

(回答/教育長)(あ) 今年度導入を計画いたしました中学校につきましては、9月より使用を開始いたしました。教育用ソフトも機種にあわせて学校からの要望をとり、必要なものを整備しております。インターネットの接続につきましては、平成13年度に全小・中学校において授業で活用できるよう接続する予定であります。(い) コンピュータを保有している教員は小学校で55%、中学校で67.9%となっております。

(ぐんじとしのりより)教育長からの回答を受けて、私からは「教育の情報化」について、再質問、再々質問を通じて以下のような提言を行いました。

コンピュータ操作を通しての情報処理活用能力を培うために来年度の学校教育を行うための指針を早急につくること。

例えば、白井町では全ての小中学校ではHPを作成している。このように進んで情報発信できるような指導を行うことをして行って欲しい。

来年度の予算についても希望として盛りこむこと。

また、文部省(当時)から出されている「教育の情報化プロジェクト」の記載には、**できるだけ早く、全ての教員がコンピュータ等に身近に接する事のできる環境づくりをすすめるべき**との項目もあるので、印西市ではその支援もすべきではないかとの提言も行いました。

最後に、地域や民間企業の協力も得て、学校の情報化をサポートすべきであるとも提言を行いました。

#### ありがとうございます。

前回、配布したVOL58に対して、以下のような質問をいただきました。

#### インターネットを使用していない人の便宜はどのようにするつもりか?

(ぐんじより/回答)今までは、全く記述していなかったことを皆様にお詫びします。ご指摘の「使っていない人達」に対しては、私からは議会中に市に対して、**(あ) 公共情報端末の整備を進めるべき (い) 市民に対する、情報教育も社会教育として行うべき**等の提言をさせていただいております。

(3月末に図書館に配置されます、議事録にてご確認いただければ幸いです。)

\* 他にも質問をいただいておりますが、紙面の都合で今後随時掲載させていただきます。

## ニュータウン対策特別委員会が開催されました。

1月26日（金曜日）に委員会が開催され、私は委員ではございませんが、傍聴を行いました。今回の委員会の目的は「千葉ニュータウン計画見直し素案」に対する委員への説明であり、「見なおしの背景」や「課題の整理」、「見直しの基本方針」、「見直し案の内容」について都市基盤整備公団や、企業庁の担当からなされましたが、今回この紙面では、牧の原地区に関連する部分について、ご報告をして参りたいと思います。

### 1. 見直しの背景

人口構造の変化への対応（高齢化社会への対応 / 少子高齢社会の到来）  
住宅・宅地ニーズの多様化・高度化への対応  
都市基盤整備公団への移行による民間企業等との連携を前提とした事業推進  
成田と連携した業務各都市形成

### 2. 見直し案の内容（抜粋）

- ・既定計画は、集合住宅主体の土地利用になっていますが、千葉NTの立地特性にあわせて、独立住宅と集合住宅の供給戸数比率の見直しが必要である。千葉NT事業では当初、戸当り人口を住宅形式により3.8人から4.0人に設定していた。しかし、近年の少子化の傾向により入居実態はこれと大きく乖離（かいり）しており、現実に即した見直しが見られる。（牧の原地区では、当初集合住宅用地として確保していた、西の原2丁目の西側、西の原ハイムの北側、及び業務用地として確保されていた、西の原ハイムの西側の土地が「戸建て住宅用地」として用途変更される計画になっております。）
- ・駅周辺のセンター用地に関しては、住宅の多様化を図り、駅前地区のビルトアップを促進するため、センター居住の導入を組み入れた駅前開発のイメージを検討すると共に商業・業務地区としての役割を阻害しないように、適切な戸数を設定する必要がある。（牧の原駅前では、駅前センター用地のビルトアップが重要であり、NT中央駅前と連携して、成田・千葉NT業務核都市の業務集積地区整備に対応していくとしています。また、牧の原駅前広場については、人工地盤方式を廃止し、駅の南北に2箇所の駅前広場を設ける計画に変更する。

牧の原駅周 / 印西市地域の住宅供給計画（未整備の駅北側も含む）

集合住宅	計画	4910戸	今後供給する戸数	2834戸
戸建住宅	計画	5100戸	今後供給する戸数	5100戸
センター	計画	400戸	今後供給する戸数	400戸

- ・高等学校について、県教育庁による県立高校の新設凍結の方針を考慮しつつも、関連市町村における高校の充足率の低さと地元及び入居者からの高校誘致に関する強い要請への対応が必要である。（従来3箇所であった予定地が、印旛村と印西市の境界に近い「造谷地区」のみに変更されております。）
- ・病院、診療所、保健所については、今後新設が必要であれば、立地可能なその他の公益的施設用地やセンター用地を確保している。（牧の原地区は現行のまま、西の原幼稚園北側の用地は確保されております。）また、郵便局、福祉施設、文化施設、官公庁等については、必要があれば立地可能なその他の公益的施設用地やセンター用地を確保している。
- ・市道3.3.23号線（西の原地区と原地区の間のイイダ脇の道路）については、交通量推計を踏まえた幅員を25メートルから18メートルに変更する。（この道路は、小林地区と、松崎地区を経由し、県道千葉竜ヶ崎線に抜ける道路です。）

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回も引き続き「定例会」の報告を行って参りたいと思います。今年もこの紙面へのご批判、ご意見、また市政へのご提言をお待ちしております。重ねてよろしくご報告申し上げます。ぐんじとしのり